

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌

Vol.51

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2018年10月30日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) <http://blg.sapporo-u.ac.jp/koenkai>



猪狩会長(右)から鈴木学長(左)に援助金目録が贈呈されました。

保護者の皆様のご出席をいただき、総会は先ず平成29年度の活動報告からスタートしました。続いて、決算報告とそれに伴う監査報告が行われ、満場一致でご承認をいただきました。

「学生生活をサポートする支援事業の数々」

平成29年度の事業報告と平成30年度の事業計画を発表し、ご承認いただいた『後援会総会』

日時／平成30年6月2日(土) 午前11時～
会場／札幌大学2204教室

後援会活動へのご理解をいただき、保護者の皆様と緊密なコミュニケーションを図る機会として、今年も、「後援会総会」を6月2日(土)に開催いたしました。同時に大学と後援会の共催による「保護者懇談会」も開催し、お子さまの学生生活や修学状況について、保護者の皆様とアドバイザー教員との間で熱心な話し合いが行われました。今号では、その詳細をレポートします。

「平成30年度札幌大学後援会総会と保護者懇談会を同時開催！」
「学生生活と就職状況を知る機会として、熱心な話し合いが行われました！」



次に、平成30年度の事業計画(案)と収支予算(案)を発表。課外活動や奨学金、研修会および資格取得奨励援助金など、今年度の活動についてもご承認をいただき、各種支援事業を今年も全力で推進して行く所存です。後援会総会は、保護者の皆様と大学、そして後援会が一堂に会する一年に一度の貴重な機会であり、大切な場であることから、来年度も多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしています。

『援助金贈呈式』

「学生の修学、生活、就職をサポートする、援助金の贈呈式が開催されました」

総会后、後援会から大学に対して援助金を贈る「贈呈式」を挙行。保護者の皆様からご承認をいただいた援助金の目録が、猪狩会長から鈴木学長に手渡されました。これに対し、鈴木学長より「学生の修学、生活、就職を支援するため、有意義に活用させていただきま

『保護者懇談会』 「保護者の皆様がもっとも関心を寄せる学生の修学状況と就職について、熱心な話し合いを展開」

日時／平成30年6月2日(土) 午後1時～
会場／札幌大学プレアホール(230012号館3階)

会場のプレアホールは、多くの保護者の皆様が席を埋めつくし、懇談会は全体説明会からスタートしました。鈴木学長、猪狩哲夫後援会会長の挨拶に続き瀧元副学長から、「大学と学生生活全般について」、近年、大学が取り組む数々の活動について、紹介がありました。続いて行われたのが、保護者の皆様がもっとも関心を寄せる「就職状況・対策について」。小山副学長か

CONTENTS

- 1面
札幌大学後援会総会
保護者懇談会
保護者の声
後援会から
- 2面
ゼミ紹介・熊谷ゼミ
後援会役員名簿
文化系サークル補助金交付式
- 3面
第51回大学祭・第43回文連祭
就職状況
- 4面
平成29年度事業活動及び
平成30年度事業計画

参加された保護者の声

■全体説明の内容について

- ・沢山の話、説明を聞いて良かった。特に在学生の体験談。
- ・在学生の説明等わかりやすく良かったと思いました。今後の学生生活の参考にさせて頂きたいと思います。
- ・前回も参加しておりますが、わかりやすく良かったです。就職についても色々変化してきている内容など、聞くことができましたとても良かったです。

■個別懇談での説明・対応について

- ・個別に書類も準備して頂いた上での対応だったのが、ありがたかったです。
- ・子どものことをよく理解し、見守っていただけていたことがわかり安心しました。
- ・不安や疑問に丁寧に答えて頂けたので、懇談に出席して良かったと思いました。
- ・予定より早く進行したので良かったです。内容も親身に相談に乗ってもらえて良かったです。

ら、来年度以降の傾向と対策が発表されましたが、就職は学生1人で活動するものではなく、保護者、先輩、そして大学が丸となって取り組むべきという観点から、キャリアサポートセンターの利用促進が繰り返し述べられました。続いて、「札幌大学トピックス」のコーナーは札大の近況を学生たちが報告するというもので、今回の報告者は、「札幌大学で挑戦してきたこと」と題して、法学専攻4年の瀧山凌平さん。防災・防犯ボランティアに参加したことや、オープンキャンパスのホストスタッフとして奮闘してきた経験談を語り、それによって自分がどれだけ成長できたかなど、有意義な学生生活を送っていることが報告されると、保護者の皆様から惜しめない拍手が贈られました。続いて学生支援課の高松課長から、配布された学年暦とともに「今後行われる行事等について」報告があり、「我が子にも充実した学生生活を送ってほしい」という願いからか、一層の関心が集まっていました。その後、個別面談がスタート。学生一人ひとりのキャンパスライフや修学状況について、熱心な話し合いが行われました。同時に大学進学を考えているお子様を持つ保護者の方との面談(進学説明会)も行われ、こちらも大変ご好評いただきました。札幌大学の入学を期待しています。



総会および、保護者懇談会は盛況のうちに無事閉会。次年度は今年以上に多くの保護者の皆様にご臨席賜われますように、早くも準備を進めています。

後援会から

本年度の第1回目となる保護者懇談会を6月2日(土)、本学プレアホールを会場に開催し、98組(135人)の保護者の方々にご参加いただきました。冒頭の全体説明において、今季の総会で会長職に再任されました猪狩会長の挨拶をご紹介します。

皆さま、本日は大変お忙しいなか保護者懇談会にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、日頃より後援会の活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。先ほど開催しました当会の総会におきまして、昨年度の決算と今年度の事業計画が承認されましたことをまずもって皆さまにご報告申し上げます。

札幌大学の後援会は、平成元年に設立されています。この保護者懇談会は、平成18年度に保護者の皆さまと大学との相互理解をより一層深めるために設立され、毎年本学と地方会場で開催することで後援会事業の大きな柱となっています。大学が現在行っている「教育」や「進路指導の取り組み」など教職員の方々が直接皆さまにお話をさせていただき、又皆さま方から大学へのご意見・ご要望をお聞きしてそれを反映させていく貴重な機会と捉えており、何卒忌憚のないご意見をお願いします。

また、在学生への支援事業として「札幌大学奨学金制度」「学外研修援助金制度」「資格取得等援助金制度」への資金援助加えて「課外活動における全国大会出場時の遠征費補助」や「大学祭・文連祭への援助」などを行い、それらの活動成果は年2回「後援会だより」を発行することで皆様にお伝えしています。

昨年度、札幌大学は創立50周年迎え記念式典・祝賀会が行われました。記念すべき節目に相応しい内容で、次の50年に向けて新たなスタートが切ることができました。皆さまもご承知のように依然として大学を取り巻く環境は厳しいものがありますし、大学も裁判の記事などでご心配を掛けていますが、大学としても学生確保を第一義として「所懸念」の改革に努めていることが窺い知ることができま

す。この50周年を機に、大学を中心として各関係者との連携も取れて改革を進めるスピードも増すものと思われま

す。ぜひとも、今後の大学の取組みに大きな注目と期待をしてください。

ただ目大アメフト部の問題でご承知のように、大学も危機時の対応を誤ると取り返しがつかないことになりま

す。本当に気を引き締めていかなければならないことを再認識された事件でもあります。

後援会としましては、お子さまが勉学や課外活動等を通じて充実した大学生活を過ごし立派に社会に巣立っていきま

すように、また保護者の皆さまもお子さまを札幌大学に進学させて本当に良かったとご満足いただけますよう一所懸命取り組んで参ります。当会も設立30年を迎えます。大学とより一層連携を密にして発展に努めて参ることをお約束いたします。最後に、皆さま方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。本日はご出席をいただきましてありがとうございます。

札幌大学後援会 会長 猪狩哲夫



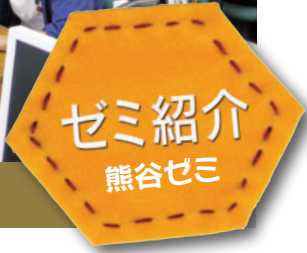
1年生ゼミの様子



留学から帰国したゼミ生



1年生ゼミの様子



今回の紹介する熊谷ユリヤ先生の専門分野は、「通訳・翻訳論および異文化コミュニケーション」。これは、開学当初から札幌大学が教育方針の柱に据えてきたテーマにも通じています。その前提となるのが語学力。なかでも英語は、今や世界のコミュニケーションツールとなつています。ユリヤゼミが目指すのは、生きた英語の習得であり、通訳・翻訳者レベルの実践能力の養成にほかなりません。さらに、異文化間コミュニケーションの専門知識を有したグローバルな人材の育成を目指しています。それだけに、同ゼミは1年次から4年次までの8学期で構成される専攻内選抜コース。早期から長期的な視野に立った教育を展開しています。

現実的な目標としては、通訳・翻訳に限らず、英語力を生かした就職が可能となるように、卒業までに「ノンネイティブとして充分なコミュニケーション」を図れる、TOEIC（国際コミュニケーション英語能力テスト）スコア860点の獲得を目指しています。また、将来的には通訳・翻訳を目指してけるスキルの習得と、異文化コミュニケーションに関する知識を養うため、教室内に留まらない現場体験型学習を積極的に導入。アクティブラーニングに

TOIEC860点と、将来的に通訳・翻訳者を望めるスキルの習得を目指して！



地域共創学群英語専攻
熊谷ユリヤ 教授

国際共通語としての英語を学び、高い運用力とグローバルな視点を有する人材を育成！

ハイレベルの英語教育と現場体験を実施！

こうした座学のほかに学内の現場体験として用意されているのが、留学生科目の履修、イベントへの積極的な参加など。例えば、英語圏からの留学生チヌーター（学習補佐世話役）を請け負うことで、一緒に過ごす時間が長くなることから、生活に密着した英語を学ぶ機会を得ています。一方、学外にも積極的に飛び出し、貴重な体験を積んでいます。近年では、2017年度『冬季アジア札幌大会』にボランティアスタッフとして参加。各国のチーム付、インフォメーションセンター、競技会場・大会運営補助などを通じ、諸外国の方々と交流を深めました。さらに、プロ通訳者として参加した4年生、櫻井伸次さんは「英語を学んできた一つの成果を発揮することができました」と充実感あふれる表情を見せつつ、このような機会を与えてくれるゼミには大変感謝していると語ります。このほか、札幌のあ

る豊平地区の食材を世界に発信しようという試みにおいて、区が主催する料理教室のレシピを英訳。国際的なレシピサイト「クックパッド」への掲載を実現するなど、ユニークな活動も展開しています。

海外留学、イベントボランティア、レシピの英訳など、現場体験を重視！

まず、日頃の授業は英語力向上の演習を基本に、通訳メソッド解説、通訳訓練法などを展開。取材に伺った当日は、設定したテーマをもとに、英語のみ使用可のディスカッションが行われていました。1年生のゼミ長、村山慶一郎さんは、「フランクな熊谷先生のご指導により、楽しく学ぶなかにも、締めるときは締める、メリハリのある充実した時間となっています」と、ゼミの魅力を語っていました。

札幌大学後援会役員名簿

任期満了に伴う当会の役員改選について、後援会総会（平成30年6月2日開催）におきまして、猪狩哲夫会長を始めとする役員の方全員が再任（任期2年）されました。

役員（平成29年度～平成30年度）			
役職	氏名	担当	
会長	猪狩 哲夫	総括・財務	
副会長	日浦 和長	事業	
	宮本 みどり	広報	
	太細 博文	事業	
監事	戸井 敏夫		
	岩橋 忠徳		
運営委員	酒井 春樹	事業	
	寒河江 正人	事業	
	上野 洋子	広報	
	林 明人	事業	
	谷口 紀代美	広報	
	庄子 史人	事業	

受講している学生が「実践的な英語を学べるベストなカリキュラム」と口を揃えるユリヤゼミ。先生は、「今後も異文化コミュニケーションの重要性を説きつつ、通訳・翻訳のエキスパートを育成するという、高い理想に向けてアクティブに活動していきたい」と、抱負を述べていました。

後援会では学外研修に対しても手厚い支援を行っており、なかでも貴重な経験となる海外留学を奨励しています。

受講している学生が「実践的な英語を学べるベストなカリキュラム」と口を揃えるユリヤゼミ。先生は、「今後も異文化コミュニケーションの重要性を説きつつ、通訳・翻訳のエキスパートを育成するという、高い理想に向けてアクティブに活動していきたい」と、抱負を述べていました。

これはもちろん話し合いを継続させていただくことで、学生によりよい生活と活動に繋げていきたいと思っています。

後援会では、「文化連合会所属サークル」の活動に対し、補助金を交付することで、強力なバックアップを行っています。今年度申請のあった9つの団体に対し、去る6月26日、その交付式が行われました。式の冒頭、猪狩後援会長から「サークル活動を通して、さまざまなことに挑戦し、知識と自信を培っていただきたい、数こそ質なり！」という激励の言葉が贈られました。これに対し、瀧元副学長からお礼の言葉とともに、学生に対しては、「日頃から支えてくださる後援会の皆様に、その成果をご覧いただけるよう精進してほしい」と、要望がありました。その後、目録を受け取った各サークルの代表より、感謝の言葉と今後の決意が述べられ、式は無事終了となりました。

後援会では、「文化連合会所属サークル」の活動に対し、補助金を交付することで、強力なバックアップを行っています。今年度申請のあった9つの団体に対し、去る6月26日、その交付式が行われました。式の冒頭、猪狩後援会長から「サークル活動を通して、さまざまなことに挑戦し、知識と自信を培っていただきたい、数こそ質なり！」という激励の言葉が贈られました。これに対し、瀧元副学長からお礼の言葉とともに、学生に対しては、「日頃から支えてくださる後援会の皆様に、その成果をご覧いただけるよう精進してほしい」と、要望がありました。その後、目録を受け取った各サークルの代表より、感謝の言葉と今後の決意が述べられ、式は無事終了となりました。



札幌大学学生自治会執行委員長
矢崎 貴大さん
(地域共創学群経営学専攻 3年生)



- 交付9団体
- アマチュア無線部●映画研究会●写真部
- アビロード音楽研究部●料理同好会
- アニメーション部●文芸部●ジャズ研究会
- 自然保護研究会

後援会では、「文化連合会所属サークル」の活動に対し、補助金を交付することで、強力なバックアップを行っています。今年度申請のあった9つの団体に対し、去る6月26日、その交付式が行われました。式の冒頭、猪狩後援会長から「サークル活動を通して、さまざまなことに挑戦し、知識と自信を培っていただきたい、数こそ質なり！」という激励の言葉が贈られました。これに対し、瀧元副学長からお礼の言葉とともに、学生に対しては、「日頃から支えてくださる後援会の皆様に、その成果をご覧いただけるよう精進してほしい」と、要望がありました。その後、目録を受け取った各サークルの代表より、感謝の言葉と今後の決意が述べられ、式は無事終了となりました。

後援会では、「文化連合会所属サークル」の活動に対し、補助金を交付することで、強力なバックアップを行っています。今年度申請のあった9つの団体に対し、去る6月26日、その交付式が行われました。式の冒頭、猪狩後援会長から「サークル活動を通して、さまざまなことに挑戦し、知識と自信を培っていただきたい、数こそ質なり！」という激励の言葉が贈られました。これに対し、瀧元副学長からお礼の言葉とともに、学生に対しては、「日頃から支えてくださる後援会の皆様に、その成果をご覧いただけるよう精進してほしい」と、要望がありました。その後、目録を受け取った各サークルの代表より、感謝の言葉と今後の決意が述べられ、式は無事終了となりました。

今年は9団体へ！
意欲的な学生活動を支援！
文化連合会所属サークルへの補助金交付式

日時／平成30年6月26日（火）
会場／7407 特別演習室

今年のテーマは

『Infinity —インフィニティ—』。

第51回目は、節目の昨年度を超えた新たな一歩！

●今年も同時開催の大学祭・文連祭実行委員にインタビュー!!

第51回目の札幌大学・大学祭・文連祭が、去る6月23日(土)と、24日(日)の2日間にわたって開催されました。例年にない盛り上がりを見せた同イベントの実行委員3名を迎え、無事完走を果たした今の感想をお聞きました。



左から 森 光正さん、金澤 裕哉委員長、辻 天音さん

Q 金澤さんは、昨年度いちスタッフとして実行委員を経験されましたが、今年は委員長ということで、昨年度と違う部分はありましたか？

A 金澤 例年行われていた人気のプログラムが急遽開催できなくなったんですが、そのピンチをチャンスと捉え、やりたかったオーディエンス参加型のクイズ大会を開催しました。新たに設けた企画でしたから、宣伝に力を入れました。学内外に看板を設置したり、札大のシステムでアイトスというのがあるんですが、それを利用して告知したり、当日の飛び込み参加も可としたので、参加枠が満杯になるほど大盛況でした。景品も豪華にしたことも効果がありましたね。

Q ほかに、新しく試みたことは？

A 金澤 私もお二人はどうですか？

辻 私は2年生で初参加です。大学生活のなかで、なにかチャレンジしたいと考えていたところに、森君から実行委員に誘われ、参加することになりました。

森 私も昨年から参加していますので、これが2回目の実行委員です。高校時代、吹奏楽部に所属して、音楽祭の司会をやったり、企画立案などに携わってきましてので、大学でもイベントの運営をやってみたいと思ったのが、参加の動機です。

Q 今年はインフィニティ「無限・永遠」というテーマを掲げられましたが、その言葉にこめられた思いとはなんですか？

金澤 毎年の大学祭を、10年、20年というスパンで見つめ、限りなく続いてほしいという願いから「インフィニティ(無限大)」というテーマが相応しいと思いました。

Q そのテーマに沿った内容にしようと頑張ったわけですね。

金澤 今年はリニユール感を出したかったので、失敗を怖れず、リスクを背負っても新しいことにチャレンジしていこうとメンバーには言いました。

Q どのようなチャレンジをしましたか？

金澤 例年行われていた人気のプログラムが急遽開催できなくなったんですが、そのピンチをチャンスと捉え、やりたかったオーディエンス参加型のクイズ大会を開催しました。新たに設けた企画でしたから、宣伝に力を入れました。学内外に看板を設置したり、札大のシステムでアイトスというのがあるんですが、それを利用して告知したり、当日の飛び込み参加も可としたので、参加枠が満杯になるほど大盛況でした。景品も豪華にしたことも効果がありましたね。



金澤 毎年、「今から大学祭を開幕します」というコールがなく、なんとなく始まっていたので、今年はオープニングセレモニーを行いました。開幕を大きな声で宣言することで、これから始まる期待感を演出したかったんです。

辻 私が印象に残ったプログラムは、「よさこいソーランフェスティバル」ですね。今年は例年以上に多くの団体に集まっていただき、迫力ある演舞が見られました。最後に参加団体が一堂に集まり、『総踊り』を楽しみました。これも新しい試みで、見ている人にも参加していただき、とても感動的でした。

森 私は、自分がMCをやらせてもらった抽選会が印象に残っています。どうしたら盛り上がりつつもらえるだろうと試行錯誤したので、皆さんが楽しんでいる様子を見て、手応えを感じましたね。

Q 来年度に向けてメッセージをお願いします。

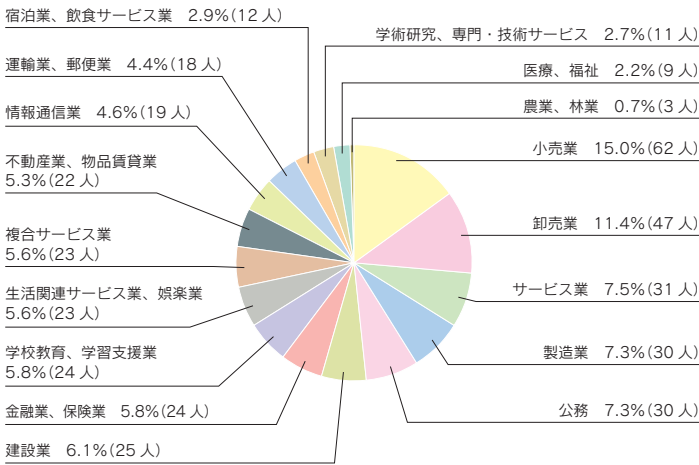
辻 頼りになる先輩の背中を見て、大変勉強させてもらいました。来年は自分たちが代表メンバーとして、来てくれた方に楽しかったと言ってもらえるイベントにしたいと思っています。

森 年を重ねるごとにレベルを上げていくことが使命だと思いますので、そこはクリアしたいと決意しています。

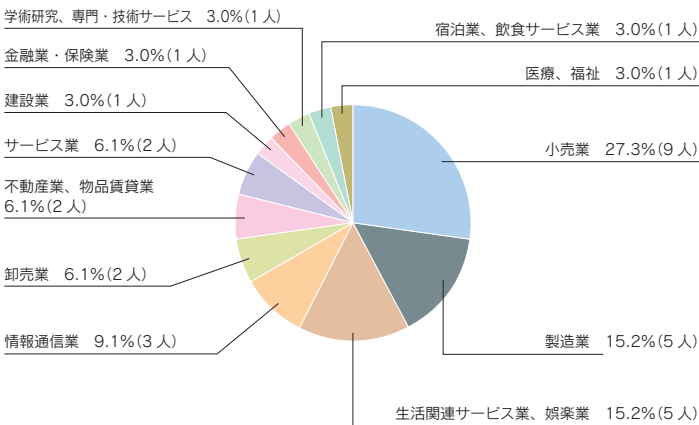
金澤 後輩メンバーたちの協力があり、自分の理想とする大学祭になりました。成功したとは言え、いろいろ改善点はあると思いますので、その辺りを見直して、来年度は今年を超えるイベントにしてほしいですね。

■業種別就職比率 (平成29年度)

【大学】地域共創学群のみ 413人



【短大】33人



■就職決定状況

平成29年度は就職環境は経済情勢によって変化するものの、ここ数年の採用・就職活動は企業の旺盛な採用意欲も影響し、短い期間の中で採用活動が進行する「超短期決戦」となりました。就職情報社が北海道エリアの企業対象に実施したアンケート結果では、採用数を減らすよりも、増やす企業が増加しており、採用意欲の高さを伺える昨年度でありました。その一例が、学生獲得のため道外企業の本学訪問の増加です。これにより、Uターン就職を希望する道外出身者が抱える情報格差が若干解消され、支援強化に繋がりました。

平成30年度は就職環境も学生にとっては有利であり、内定率は昨年同時期以上です。小売業、卸売業を中心に順調に伸びております。道外での就職活動者も増加しており、首都圏学生の積極的な姿が本学学生に良い影響を与えているようです。

このような好環境のなか懸念される点は、本学学生は就職活動において効率を重視する傾向があり、数多くの企業と接触するよりも、同時進行を1・2社程度にとどめていることです。そのため、昨年度は内定獲得できない学生の持ち駒がすぐに無くなってしまい、その都度説明会参加・求人検索など振り出しに戻る姿が目立っていました。しかし、採用数増加による企業の採用活動の長期化に助けられ、相談に来てくれた学生に対する斡旋企業が途切れなかったことが内定率上昇の一因と考えられます。

■就職決定状況(大学)

学部	区分	卒者数	業数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
地域共創学群		512		437	413	94.5%	94.6%

確かに就職活動は期間限定であるため効率も重要ですが、この時期にしか味わえない「数多くの社会人と対話する経験」が自身の成長となり、スムーズな社会生活スタートにも繋がります。今後も、学生の視野が広がる就職講座を企画・実施し、成長が感じられる就職活動になるよう支援してまいります。

■業種別就職比率

大学は、小売業15.0% (昨年17.4%)、卸売業11.4% (昨年13.1%)、サービス業7.5% (昨年7.2%)は昨年同様上位を占めていました。ここ数年、採用意欲が特に高い建設業が6.1%(昨年2.8%)と大幅にアップしました。

短大は、学生数が少ないため業種比率の変動が起こりやすくなっています。昨年度は、小売業、製造業、生活関連サービス業で57.7%を占めました。

■求人件数

大学を対象とする求人件数の総数は2,638件 (昨年2,722件)と減少しましたが、道内企業の求人件数は936件 (昨年918件)と増加したため、道内企業求人の割合が高まった結果となりました。

短大においても、1,338件 (昨年1,421件)、うち道内企業の求人件数が566件 (昨年533件)と、大学と同じ状況に至りました。

■就職決定状況(女子短期大学部)

学科	区分	卒者数	業数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率	前年度就職決定率
キャリアデザイン		42		35	33	94.3%	90.0%

注1)：就職希望者とは、a 就職が決定した者、b 就職を希望し、集計時(平成30年3月31日現在)においては受験準備等であるが、就職の意志のある者をいう。

注2)：進路決定者とは、就職決定者に非就職者(進学・研究生・アルバイト・無職等)を加えたものをいう。

注3)：進路決定率とは、進路決定者数を卒業者数で割ったものをいう。

■平成30年3月卒業生の主な就職先

ANA新千歳空港/日本自動車連盟/札幌商工会議所/北海道農業団体健康保険組合/ナラサキスタックス/AIRDO/北海道旅客鉄道/P&Gプレステージ/ほくやく/モロオ/国分北海道/サントリービバレッジサービス/キャノンシステムアンドサポート/富士ゼロックス東京/渡辺パイプ/セコマ/日本医療大学/旭川信用金庫/北洋銀行/北海道銀行/第一生命ホールディングス/北海道セキスイハイム/アレフ/東急ホテルズ/ホテルモントレ/サッポロドラッグストアー/ジョイフルエーカー/ツルハ/DCMホームマック/イオン北海道/東急百貨店/札幌トヨタ自動車/アイティ・コミュニケーションズ/JTBコーポレートセールス/トヨタテクノクラフト/須田製版/日本メディカルプロダクツ/文化シャッター/明治/アクティオ/カナモト/ホクレン農業協同組合連合会/北海道漁業協同組合連合会/日本郵便/地方公務員(道内市町村職員、北海道警察)/公立学校教員(中学校・高等学校)

クリナップ/ニッポンレンタカー北海道/ネットトヨタ札幌/メディカル・ケア・サービス/エネサンス北海道/グランビスタホテル&リゾート/サマンサタバサジャパンリミテッド/サンドラッグプラス/ジョイフルエーカー/ハニーズホールディングス/ロジネットジャパン/東京めいらく/北海道日産自動車/明治安田生命保険

平成29年度事業活動及び平成30年度事業計画

平成29年度事業活動

(1) 会費納入状況

①第1種会員：2,693人、加入率 96.9%
【大学：2,595人、加入率 97.0% 大学院：20人、加入率 87.0% 短大：78人、加入率 97.5%】
②第2種会員：45人
③第3種会員：なし

(2) 補助事業

①課外活動への補助 補助金交付団体及び補助金額は次の一覧のとおり。
(平成30年3月末現在)

		単位：円
交付団体名	大会名	支出金額
空手道部	第61回全日本学生空手道選手権大会	12,000
	第61回全日本大学空手道選手権大会	18,000
弓道部	第65回全日本学生弓道選手権大会	180,000
	第48回全日本学生弓道遠的選手権大会	
剣道部	第65回全日本学生剣道優勝大会	120,000
硬式庭球部	全日本学生テニス選手権大会（男子85回/女子61回）	75,000
	平成29年度全日本学生室内テニス選手権大会	12,000
サッカー部	第41回総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント	225,000
	第53回全国社会人サッカー選手権大会	216,000
	第1回全日本大学サッカー新人戦	45,000
	第32回デンソーカップチャレンジサッカー熊本大会	36,000
女子サッカー部	第26回全日本大学女子サッカー選手権大会	300,000
	第18回大学女子サッカー地域対抗戦2018	75,000
柔道部	平成29年度全日本学生柔道優勝大会	117,000
	平成29年度全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	27,000
	平成29年度全日本学生柔道体重別選手権大会	99,000
	第72回国民体育大会（柔道競技）	12,000
	平成29年度全日本学生柔道体重別団体優勝大会	135,000
準硬式野球部	第69回全日本大学準硬式野球選手権大会	249,000
	第35回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	60,000
スケート部	第18回大学アイスホッケー交流苫小牧大会	195,000
	第11回東日本学生フィギュアスケート選手権大会	18,000
	第90回日本学生氷上競技選手権大会（ホッケー部門）	210,000
	第90回日本学生氷上競技選手権大会（フィギュア部門）	12,000
女子バスケットボール部	第69回全日本大学バスケットボール選手権大会	180,000
女子羽球部	第68回全日本学生バドミントン選手権大会	120,000
卓球部	第87回全日本大学総合卓球選手権大会・団体の部	228,000
	第84回全日本学生大学総合卓球選手権大会・個人の部	81,000
	第14回全日本学生選抜卓球選手権大会	18,000
男子バレーボール部	第36回東日本バレーボール大学選手権大会	162,000
	第70回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会	189,000
チアリーディング部	第29回全日本学生チアリーディング選手権大会	54,000
ハンドボール部	平成29年度東日本学生ハンドボール選手権大会	228,000
ラグビー部	第68回全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会	525,000
陸上競技部	第39回北日本学生陸上競技対校選手権大会	414,000
	第86回日本学生陸上競技対校選手権大会	90,000
	UCI ASIA MTB SERIESマレーシア クチン	15,000
X-SPORTS部	Mitsumata Ups'n'Downs Opening Kagura Cross Challenge	15,000
	Kinseiryuho TAKAHIRO Memorial CAP in TakaiFuji	12,000
	TB Inc CUP	21,000
	第25回JSBA全日本スノーボードテクニカル選手権大会	
	第24回全日本スキー選手権大会スノーボード競技	30,000
	第73回国民体育大会冬季大会スノーボード競技会	
	第36回JSBA全日本スノーボード選手権大会	
	第36回JSBA全日本スノーボード選手権大会学生大会・中部地区大会	15,000
	OCCHY Enterprise CUP	24,000
	第36回JSBA全日本スノーボード選手権西日本大会・東海地区大会	
	Nekoma Slopestyle Session	
X-SPORTS部	第36回JSBA全日本スノーボード選手権大会（悪天候のため延期）	12,000
	第36回JSBA全日本スノーボード選手権大会	
	平成29年度震災ボランティア	36,000
震災ボランティア	第49回全日本大学個人ボウリング選手権大会	15,000
	第56回全日本ボウリング選手権大会	15,000
20団体	小 計	4,947,000

交付団体名	文化系サークルの主な活動内容	支出金額
アマチュア無線部	アマチュア無線家との交流	50,000
写真部	卒業記念写真展	50,000
映画研究会	映画上映大会	50,000
文芸部	部誌、企画冊子発行	50,000
ジャズ研究会	定期演奏会	50,000
アピーロード音楽研究部	合同ライブ	50,000
軽音楽部	大学祭・文連祭ライブ	50,000
アニメーション部	アニメーション作成	50,000
8団体	小 計	400,000

課外活動への補助金合計 5,347,000円

- ②札幌大学奨学金他への援助10,000,000円
- ③札幌大学学外研修援助金2,000,000円
- ④札幌大学資格取得等奨励援助金1,000,000円
- ⑤外国人留学生への援助720,000円
- ⑥札幌大学大学祭・文連祭への補助金1,000,000円
- ⑦学生用図書費の援助1,000,000円
- ⑧学生表彰0円
- ⑨卒業祝賀会への補助金1,000,000円
- ⑩大学院生への援助100,000円
- ⑪札幌大学保護者懇談会に係る旅費への補助金1,472,643円
- ⑫札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブへの補助金200,000円
- 補助費支出合計 23,839,643円

(3)【保護者懇談会について】平成29年度 保護者懇談会実施

開催地	会 場	開催日	参加人数
札 幌	①札幌大学	6月 3日（土）	136
北 見	③ホテルロイヤル北見	9月 2日（土）	13
旭 川	④アートホテルズ旭川	9月 3日（日）	14
釧 路	⑤ホテルクラウンヒルズ釧路	9月 9日（土）	15
帯 広	⑥ホテルグランテラス帯広	9月10日（日）	10
札 幌	②札幌大学	9月16日（土）	86
青 森	⑦ホテルJALシティ青森	9月23日（土）	8
函 館	⑧ホテル法華クラブ函館	9月24日（日）	17
苫小牧	⑨グランドホテルニュー王子	9月30日（土）	7
合計			306

保護者懇談会では就職をはじめ、さまざまなご質問やご相談にもお応えしております。地方の方は参加し易い主要都市での開催に是非ともご参加下さい。

- (4)【広報活動について】 「後援会だより」を10月30日、3月31日付けの年2回発行
- (5) 札幌大学後援会総会 日時：平成29年6月3日（土） 場所：図書館1階 学生立志テラス(S-Wing)
- (6) 札幌大学後援会役員会 〈第1回〉日時：平成29年5月24日（水） 場所：札幌大学 第1会議室
〈第2回〉日時：平成29年6月 3日（土） 場所：札幌大学 第1会議室

平成29年度札幌大学後援会決算書

平成29年度収支計算書（自平成29年4月1日 至平成30年3月31日） 単位：円

科 目	予 算	決 算 額	増 ・ 減
収入の部			
前年度繰越金	60,105,626	60,105,626	0
第一種会員会費	27,780,000	26,990,000	△790,000
第二種会員会費	150,000	138,000	△12,000
第三種会員会費	0	0	0
利息	2,000	912	△1,088
基金取崩収入	25,000,000	25,000,000	0
合 計	113,037,626	112,234,538	△803,088
支出の部			
基金充当金	25,000,000	25,000,000	0
補助費	23,550,000	23,839,643	289,643
消耗品費	70,000	20,600	△49,400
旅費交通費	450,000	360,260	△89,740
印刷費	1,100,000	922,320	△177,680
通信費	900,000	781,528	△118,472
支払手数料	30,000	10,800	△19,200
会議渉外費	1,820,000	1,263,992	△556,008
予備費	200,000	0	△200,000
小 計	53,120,000	52,199,143	△920,857
当年度収支差額（次年度繰越金）	59,917,626	60,035,395	
合 計	113,037,626	112,234,538	△803,088

平成29年度資産（現預金）・基金内訳表（平成30年3月31日現在） 単位：円

勘定科目	前年度繰越金	3月末	増 減
《資産の部》			
現金（事務室保管）	21,338	20,709	△629
普通預金（北海道銀行西岡）	43,846,312	43,689,938	△156,374
普通預金（北洋銀行豊平）	16,237,976	16,324,748	86,772
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	21,000,000	△5,000,000
基金（北洋銀行澁川）	20,000,000	0	△20,000,000
資産合計	106,105,626	81,035,395	△25,070,231
《基金の部》			
基金（北海道銀行西岡）	26,000,000	21,000,000	△5,000,000
基金（北洋銀行澁川）	20,000,000	0	△20,000,000
収支差額（次年度繰越金）	60,105,626	60,035,395	△70,231
基金合計	106,105,626	81,035,395	△25,070,231

平成30年度事業計画

札幌大学後援会では、在学生を支援の主たる対象とし、各種支援事業を平成30年度も継続してまいります。・主な事業計画は次のとおりです。

- ①後援会総会の開催（後援会活動活性化の観点から保護者懇談会との同日開催）、②札幌大学との共催による保護者懇談会の開催（会議費、旅費交通費等の運営経費を補助）、③学生への経済的支援、(1) 課外活動への援助金（全国大会及びこれに準ずる大会等へ参加する部員への遠征費補助、文化系サークルの活動費を補助）、(2) 学外研修への援助金（国内外の宿泊研修、臨地研修等への参加者への資金）、(3) 資格取得・受験対策への援助金（能力開発センター開講講座の資格取得者への援助金、正課授業に係る資格の受験者への援助金）、(4) 札幌大学奨学金制度への援助金（成績優秀者に対する奨学金資金の援助、経済的困窮度を重視した生活支援奨学金の援助）、(5) 学生用図書費への援助金（選書ツアー用図書費及び学生希望図書費の資金）、(6) 表彰 全国大会等に準ずる大会等で優秀な成績を収めた者を規程に基づき表彰する、(7) その他の援助（卒業記念祝賀会に対する援助、大学院生に対する援助、大学祭・文連祭に対する援助他）、(8) 地域貢献活動への援助金（めえ〜ずの活動資金を補助）、④広報活動（『後援会だより』の発行）

9月6日以降の保護者懇談会につきましては、胆振東部地震の影響により中止とさせていただきます。

平成30年度収支予算

収入の部 単位：円

科 目	平成29年度決算額	平成30年度予算額	増減額（決算額比）	摘 要
前年度繰越金	60,105,626	60,035,395	△70,231	
第1種会員会費	26,990,000	27,750,000	760,000	10,000円×2,775人=27,750,000
第2種会員会費	138,000	135,000	△3,000	3,000円×45口
第3種会員会費	0	0	0	
受取利息	912	1,000	88	
基金取崩収入	25,000,000	0	△25,000,000	
合 計	112,234,538	87,921,395	△24,313,143	

支出の部 単位：円

科 目	平成29年度決算額	平成30年度予算額	増減額（決算額比）	摘 要
基金充当金	25,000,000	0	△25,000,000	
補助費	23,839,643	22,620,000	△1,219,643	札幌大学奨学金援助金 課外活動補助金・卒業祝賀会・大学祭・大学院生への援助金 外国人留学生奨学金援助金 学外研修援助金・資格取得等奨励援助金 学生用図書費の援助
表彰				表彰 保護者懇談会（大学分旅費） 地域貢献費（札幌大学地域スポーツ・文化総合型クラブ）
消耗品費	20,600	70,000	49,400	事務用消耗品 コピー用紙
旅費交通費	360,260	450,000	89,740	役員会、保護者懇談会（地方）
印刷費	922,320	1,100,000	177,680	封筒作成 会報作成（後援会だより） 印字 その他印刷
通信費	781,528	900,000	118,472	後援会だより発送作業・発送費2回分、会費納入案内
支払手数料	10,800	30,000	19,200	役員会、総会案内・保護者懇談会等の案内他
会議渉外費	1,263,992	1,820,000	556,008	会費納入振込手数料・業者への振込手数料 役員会会議費、総会・札幌会場保護者懇談会参加者昼食費、地方会場費 祝儀等
予備費	0	200,000	200,000	
小 計	52,199,143	27,190,000	△25,009,143	
次年度繰越金	60,035,395	60,731,395		
合 計	112,234,538	87,921,395		

編集後記

低温、長雨、猛暑に続く9月6日の胆振東部地震は、北海道初の震度7の大地震で、全道にわたり各地で甚大な被害をもたらしました。被害に遇われました皆様には心からお見舞申し上げますと共に一日も早い復興を願っております。

後援会だよりも51号になり、熊谷ユリヤゼミ、6月に開催の大学祭・文連祭（同時開催）の2大キャンパスライブを特集しました。

大学祭は、キャンパス見学会と同時に開催されたことにより、地域住民はもとより道内、道外の高校生にも楽しんでいただけたのではないかと思います。熊谷先生のゼミでは、ゼミの楽しさを語っていただきました。

次号52号の発行は2019年3月末日を予定しております。

(M.M)